

あいのかせ

Vol. **47**
2020年

平成から令和へ
新時代の男女共同参画



**FUUNA
NAKAYAMA**



特集

- かけ空を翔る令和の新星 NEW STAR 中山楓奈さん
- 家族の笑顔を増やす! 育児グッズ開発秘話

取材

- 男性保育士の未来予想図
- パパママセミナーに参加する! ほか



かけ NEW STAR
空を翔る令和の新星
中山楓奈さん

取材する私たちをはにかみながら出迎えてくれた中山さん。取材する場所はここがいいと、スケートボードをもって外のベンチに腰掛けました。小柄な身体からあふれる力強さ。中学2年生14歳の素顔に迫ります。

profile

2005年6月17日生まれ 14歳、富山市山田出身。

[受賞歴]

2018年9月 第18回 アジアローラースポーツ選手権大会
スケートボード女子ストリート3位。

2019年2月 AJSA(※1) JAPAN OPEN STREET CONTEST
女子2位。

4月 FISE(※2) WORLD SERIES HIROSHIMA
スケートボードストリートWOMEN's 2位。

5月 JRSF(※3) 第3回 日本スケートボード選手権大会
女子ストリート優勝。

2019 JRSF スケートボード強化指定選手に選ばれる。

2019 SLS(※4) WORLD TOUR IN LONDON
WOMEN's 6位。

JUMP!

スケートボードを始めたきっかけは

5年前の小学3年生のとき、父がNIXS(NIXSスポーツアカデミー)に遊びに連れてきてくれたことがきっかけです。様々なスポーツが体験できたのですが、スケートボードだけレンタル出来たのでやってみたところ、楽しくて一日で乗れるようになりました。

きっかけは何気ないことだったのですね

遊びに行ったあとにすぐ誕生日がきたので、父にスケートボードを誕生日プレゼントに買ってもらいました。

競技をしていて男性と女性の違いを感じることはありますか

(ひとしきり考えたあと)
ないです。

スケートボードに男性的な印象を持ったことも考えたこともないです。女の人も頑張れば男の人と同じくらいできるようになると思います。



スケートボードと学校との両立は

学校がある日は、放課後2時間くらい練習しています。送迎は両親がしてくれたり、年上の友人が申し出てくれたりと様々です。スケートボードの練習後に自宅に戻って宿題をしていますが、スケートボードが楽しいので疲れを感じることはありません。休日は、日差しがあるため、昼過ぎからNIXSが閉所するまで4時間練習しています。足が痛むときなど調子が悪い日には休むこともあるのですが、休むと「練習しなくちゃ」と不安になってしまいます。

編集委員の一言

最近はスケートボードをする女性も増えてきているそうです。中山さんが何気なく始めたスケートボードに魅了されたように、NIXSをきっかけにスケートボードの競技人口が増えてくれたらいいですね。新時代、令和。今年は日本でオリンピックが開催されます。自分のペースで1歩ずつ前に進む中山さんの、今後の活躍に注目していきたいです。



編集委員と中山楓奈さんのスケートボード仲間

今までで楽しかったこと、辛かったことを教えてください

楽しいのは、やりたかった技ができるようになった時や、海外や日本全国に友達ができること。県外や海外の遠征は、スポンサーの方が同行してくださるので、さみしくはないです。辛いのは、今まで出来ていた技が出来なくなったとき。でも練習をしたら、またその技が出来るようになったので、安心しました。

今後の目標は

今後の目標は特に考えていません。今は月に1、2回大会に出場しています。目の前の大会一つ一つを楽しみながら取り組んでいます。スケートボードをすることが楽しいんです。それが練習でも大会でも気持ちは変わりません。



NIXSスポーツアカデミー
(富山市ストリートスポーツパーク)

NIXS
SPORTS
ACADEMY

2014年5月にオープンした、スケートパーク・ダンス・ボルダリングゾーンを内包する全国最大規模の複合系ストリートスポーツパークです。

※小学生以下は、必ず保護者同伴での利用になります。

●所在地 富山市婦中町下轡田759番地1
TEL.076-465-2050 FAX.076-465-2051

●開所時間 月曜～金曜：午後1時～午後8時
土曜：午前10時～午後8時
日曜・祝日：午前10時～午後7時

●休所日 年末年始(12月28日～翌1月4日)
※施設利用の安全上、雨天等により全施設休所、または部分休所する場合があります。

※1 一般社団法人日本スケートボード協会
※2 エクストリーム・スポーツ国際フェスティバル
※3 日本ローラースポーツ連盟(現在:一般社団法人ワールドスケートジャパン)
※4 ストリートリーグスケートボード

むかしからいまへ

リッチェル担当者に訊く

家族の笑顔を増やす！ 育児グッズ開発秘話

富山市に育児グッズを企画・製造・販売する「(株)リッチェル」という会社があるのをご存知ですか？
今回は、60年以上の歴史をもつリッチェルのご担当者から時代の変化とともに変遷する育児グッズの開発秘話についてお話を伺いました。

「育つ笑顔 育む笑顔」を大事に

「パパ・ママと赤ちゃんが時間を大切にしながら笑顔があふれる毎日を過ごせるよう、私たちに何ができるかを模索し続けています。」と開発担当者の方が語るように、育児にかかる手間の時間を短縮し、親子の幸せ時間を増やすための商品を開発してきました。

商品を開発するうえで大事にしていることは、作り手の考えだけでなく消費者の声に耳を傾けることです。リッチェルでは、新生児から2歳くらいまでの子どもを対象とした商品を多く提供しています。そのため、子育て中のママ達を対象にヒアリングしながら、それを基にニーズに合った商品開発や商品改良に取り組んでいます。離乳食を冷凍保存できる『わけわけフリージングブロックトレイ』の開発もそのひとつです。

現在は、働く女性が増え、休日にまとめて料理をして冷凍保存するという時短の工夫がされるようになりました。ママの社会進出も進んだことで、赤ちゃんの離乳食も冷凍保存するようになっていきました。

「赤ちゃんが1歳になる頃に育児休暇から復帰するママが、だんだんと増えています。“忙し



わけわけフリージングブロックトレイ

いけれど赤ちゃんのために離乳食を手作りしてあげたい」というママの気持ちに寄り添いたいと考え、離乳食を小分けにして冷凍保存できるように開発しました。」と自身も3人の子育て中の開発担当者、河口さん。



▲ベビー・ライフケア用品企画課 河口さん

この商品は、離乳食を1個ずつ必要な分だけ製氷皿のように取り出し電子レンジで温めることができる優れ物です。ママがいなくてもパパが解凍して赤ちゃんに離乳食を食べさせることもできて、今の時代にピッタリな商品と言えます。



▲販売促進課 桶本さん

また河口さんは、「今後も手作りの離乳食を時短で作ることができる商品を開発するなど、家族の笑顔を増やし、みんなで子育てができる現代の暮らしに寄り添っていきたい。」と意気込みを話してくれました。



▲取材にご協力いただいたリッチェルの皆さん

(株)リッチェル

1956年(昭和31年)創業。[本社所在地] 富山市水橋桜木136
 〈企業理念〉洗練された進歩的な感覚でわたくしたちにしかつけない「良い商品」を提供する。
 〈事業内容〉家庭用品、ペット用品、ベビー用品、ライフケア用品、園芸用品、業務用品、環境エコ用品、エクステリア用品の企画製造販売

商品の変遷とともに感じる時代の変化

創業当初から子ども用のプラスチック食器を扱っていましたが、1980年代からはベビー用品を主力商品に位置付け、ラインナップも充実させました。当時は、「男の子にはブルー」「女の子にはピンク」といったカラー設定もあったようですが、現在は性別に関係なく誰でも使えるカラーやデザインになっています。



現在、リッチェルが自社で生産した赤ちゃん用マグは国内市場の4割を占め、空気で膨らませるベビーバス『ふかふかベビーバス』は、グッドデザイン賞など多数の賞を受賞、日本で生まれる赤ちゃんの5人に1人が使用しており、高く支持されています。

◀子育て談義を交えながら和気あいあいとすすむ取材風景

	食器	マグ	離乳食(おかゆ)の調理	ベビーバス
むかし	<p>リッチェルのベビー用品は、食器からはじまりました。キャラクターが書かれている商品は昔から愛されています。</p>	<p>乳首→スパウト→ストローというステップアップ商品が主流でした。</p>	<p>土鍋でコトコト炊いて、すり鉢ですりつぶして赤ちゃんにおかゆをあげていました。</p>	<p>プラスチックのベビーバスは、保管のための場所をとっていました。</p>
いま	<p>100日祝いなどで、インスタ映えする商品が誕生。他にも、電子レンジ対応、すり鉢機能付きのシンプルなデザインの食器も誕生しています。</p> <p>© Kinpro design</p>	<p>フタの一部を押すと、飲み物が出てきて、飲む練習ができる商品が誕生。機能性・デザイン性を高めました。保冷タイプや大容量のストラップ付きタイプのマグもあります。</p>	<p>電子レンジで温めるだけの簡単調理でおかゆが作れます。より便利な商品とすることで現在も改良を重ねています。</p>	<p>ストッパーをつけて、赤ちゃんのズリ落ちを防止。何より、膨らませて使えるので収納に便利。やさしい触れ心地で腕が痛くなく新米パパ・ママにも安心。</p>

編集委員の感想

家族のコミュニケーションが育児には何より大事ですが、赤ちゃんや家族との時間を長く作れるように商品を開発している会社の努力を感じました。家族がニコニコ笑顔で共に育児を楽しみ、その先に穏やかなわが子の成長があるとすれば、こんなに幸せなお仕事はないですね！

男性保育士の未来予想図



今年度、富山市では男性保育士初の副所長が配置されました。今求められている「男性の子育て」に関連して話題になっています。保育士である誇りと自身の信念でまい進する男性保育士にお話を伺いました。

profile

富山市八尾町出身、射水市在住。
妻、子3人、妻の母の6人暮らし。
平成11年度採用。



▲村井副所長が勤務する西田地方保育所

保育士をされてきた20年を振り返って

男性保育士が登場するドラマを観て心動いた高校生のときに、迷わず保育の専門学校への進学を決めました。採用後初めて赴任した八尾の保育所勤務時代は、近所でも有名な「フレッシュ先生」と保護者や地域の方に可愛がっていただきました。預かる子ども一人ひとりの笑顔を大切にするというスタンスは長く勤めても変わりません。日々の会話の中で求められていることを感じ取り、無理なく寄り添っていくことで積み上げた20年です。

副所長となった今

子どもたちと過ごす時間よりデスクワークが増えて、さみしい思いをしています。副所長は、子ども一人ひとりに合わせた支援と、安全で安心してもらえる保育環境を整えることが日課です。そして大きな行事の総合的な準備や運営、予算管理なども大切な業務です。大変ですね(笑)。

保育所は地域との連携も不可欠ですので、そのパイプ役になれば嬉しいです。



リフレッシュしたいとき

フットサルです!! モヤモヤしている思考回路をスッキリさせてくれます。実は幼いころは泣き虫で、長続きする特技もなかったんですよ。おかげさまで、フットサルは15年間続いています。

これからの男性保育士や保育現場の進む道

今の時代にあった子どもの保育支援をしていくには、女性保育士の存在は多数であっても、男性保育士が程よいエッセンスになれば。

自分に課せられた役割は、後進へバトンを繋ぐこと。かっこよくいえば、道を作る(笑)。ともに働く男性保育士たち(※他3人在籍)もキャラクター・得意分野がそれぞれ違います。目の前の課題をきっちりこなし、できた余裕時間を次のステップにあてる…この繰り返しを人が育てる現場に必要な考え方かなあと。



今後の目標

子どもたちの笑顔と、保護者からの「ありがとう」が元気の素です。今後はさらに、育児に参加されるお父さんやおじいちゃん、おばあちゃんとのコミュニケーションも増やしていきたいですね。



パパママセミナーに参加する!

今回は、小林編集委員が10月16日(水)に中央保健福祉センターで開催された「パパママセミナー」に体験参加しました。



パパママセミナーとは?

妊娠5~8か月の妊婦(妻)と夫が、おむつ替えや赤ちゃんの着替え、沐浴などの体験を通して、妊娠・出産・育児に対する知識を深めるセミナーで、今回は24組が参加されました。

どしり! 妊婦体験

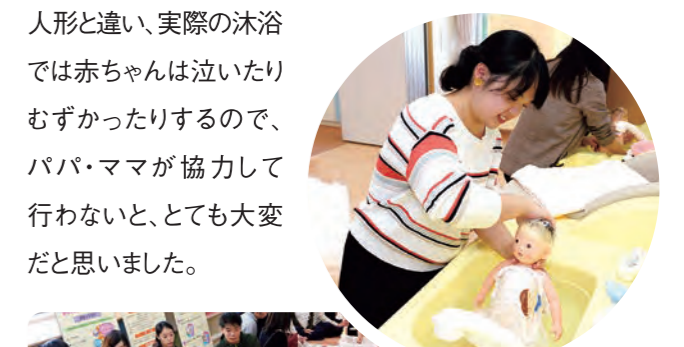
重さ約7キロもある妊婦さんのお腹を模したウェア(重り)を身体に装着して、様々な動きを体験してみました。その中でも「寝転んで起き上がる」という動きは、汗が出るほど大変でした。また、動き方によってはお腹の重みにより腰や膝を痛めてしまう可能性があるため、妊婦さんが動く際には注意が必要だと、身をもって知ることができました。



妊婦さんの大変さを実感しました。

ドキドキ! 沐浴体験

重さ3,000グラムの赤ちゃん人形の沐浴体験にチャレンジ! 沐浴中は、赤ちゃんの顔がお湯に浸からないように左手で支え、右手で顔や身体を洗うのですが、途中から手がぶるぶると震えて辛かったです。また、事前に沐浴の仕方を学んだにも関わらず、いざ本番となるとやる事が多く、他の方にお手伝いしてもらいながら何とか行うことができました。



浅沼さんご夫婦にインタビュー

「セミナー参加のきっかけは?」との問いに、「僕たちは、県外出身なので、夫婦2人での育児が中心となるんです。だから、この機会に子育てのことを学びたいと思ってパパママセミナーに参加しました。」と優しい笑顔で教えてくださいました。ちなみに旦那さんが「一緒に行こう」と奥さんをこのセミナーに誘って参加したそうです。浅沼さんのように育児に積極的な男性が増えて欲しいなと思います!



参加してみて思ったこと

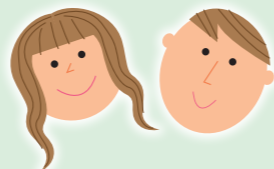
今回の体験やインタビューを通して、将来は結婚して子どもを持ちたいという気持ちがより強くなりました。私もいつか、夫婦でこのセミナーに参加したいと思います!

市民フェスティバル2019

令和元年11月17日(日)、性別に関わりなく互いに尊重し支え合う男女共同参画社会を実現するために「男女共同参画とやま 市民フェスティバル2019」が、富山県教育文化会館(富山市舟橋北町)で開催されました。

○講演会「“ズレ”ない男女共同参画のために」 講師:古市憲寿さん

社会学者の古市憲寿さんを講師にお招きし「“ズレ”ない男女共同参画のために」と題して講演が行われました。



軽快に話す古市さん

白いパーカー姿にスニーカーで登場された古市さん。男女共同参画について、この40年間で働く女性の家事労働時間は12分しか減っておらず、かたや男性は13分しか増えていない現状から、日本は家事に高いレベルを求めすぎていると指摘しておられました。また、子どもを保育園や学童保育に預けることについて迷っている方からの質問に対し、小学校のように保育園・幼稚園を義務化することや子どもの貧困の悪循環を断ち切る必要性について持論を語られました。子どもの自制心や生きるチカラは幼児期の過ごし方が重要と話し、お母さんが1対1で子育てすることが多い今、

集団で過ごすことや保育のプロである先生にみてもらうことはかわいそうではない、男女共同参画を難しく考えすぎず、肩肘張らないで気楽に取り組めばいいと古市さんはアドバイスしておられました。



一人一人に丁寧にサインする古市さん

参加者からの『社会学者になったきっかけ?』『子どものときの夢は?』との質問に対して、「将来の夢は無く、大人を安心させるために公務員になると言っていた」と話し、ピースボートに乗った20代の時にその体験を生かして本を書いたところ、たまたま注目され社会学者になったと古市さんは笑顔で語りました。

『これからの日本に必要な人材は?』との質問には、学生時代に起業して成功した海外のIT企業社長などを例に挙げ、これからの理想の働き方は、帰る場所や本業がある「副業」の方が、より挑戦できるのではと話されました。



最後に、常識はたまたま誰かが作ったもので永久不変ではないと話され、実は社会は少しずつ変わっていくし変えていける、今ここにあるものは絶対変わっていくと参加者に語りかけました。また、無理せず自分を犠牲にせず、ちょっとずつ社会を変えていけばよい、人生の選択肢が狭まらない社会になっていけばよいと話を締め括られました。

参加者の皆さんが新しい明日を生きるチカラをもらった講演会でした。

古市憲寿さん profile

1985年 東京生まれ。現在、慶應義塾大学SFC研究所上席所員。著書「絶望の国の幸福な若者たち」などで注目され、現在は「とくダネ!」や「ワイドナショー」のコメンテーターとしても活躍。

○男女共同参画社会づくり作文コンクール表彰式

「令和元年度 男女共同参画社会づくり作文コンクール」受賞者(最優秀賞、優秀賞)の表彰式が行われました。



受賞された皆さん

令和元年度は、市内各中学校から307点の応募がありました。

市民フェスティバル2019では、最優秀賞および優秀賞の表彰式と最優秀賞作文の朗読発表がありました。

最優秀賞を受賞されたのは、西部中学校2年生の井澤遥さん。表彰式では「社会がよりよくなるために」と題して作文の朗読が行われました。井澤さんは「14歳の挑戦」で

動物病院へ職業体験に行った経験から、私たち一人一人の個性や能力をお互いに尊重し合い、性別に関係なく協力していくことを大切にしたいと感じたそうです。

日頃触れることがない中学生の男女共同参画に対する思いを知るとともに、その経験談を聴くことができ、自分の中学時代を思い起しました。会場に訪れている方も、作文に聴き入っている様子でした。



表彰式



作品を朗読される井澤さん

男女共同参画社会づくり 作文コンクール



富山市では、男女が互いにその人権を尊重し、責任をともに分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けた意識を高めるため、市内の中学生を対象に、毎年、男女共同参画に関する作文を募集しています。

今年度は、307点の応募があり、その中から入賞された方と最優秀受賞作品を紹介します。

作品応募総数 **307点**

(敬称略・五十音順)

最優秀賞

社会がよりよくなるために 西部中学校2年 井澤 遥

優秀賞

自分らしく生きる

- 岩瀬中学校2年 碓井 美由
- 「男だから」「女だから」がない社会
- 大泉中学校1年 浦田 華怜
- 私とあなたとでできること
- 芝園中学校2年 野崎 歩映
- 男女平等な社会を自分たちの手で
- 岩瀬中学校1年 山崎 理央

佳作

できる時にできることを

- 岩瀬中学校1年 伊藤 千遥
- 認め合う社会
- 芝園中学校1年 五本 弘英
- 「女性の権利」
- 芝園中学校2年 齋藤 沙彩
- 「協力して家庭を支えている両親」
- 芝園中学校3年 佐藤 梨子
- 男女が共に支え合うために
- 芝園中学校3年 島崎 有咲

日本の家庭の現状

- 岩瀬中学校1年 為成 結菜
- 私らしさ
- 片山学園中学校3年 永田 伊歩希
- 男女平等に
- 呉羽中学校1年 平井 雪穂
- 本当の男女平等とは
- 東部中学校2年 藤井 優佳
- 男女が協力し合うこと
- 西部中学校1年 水尾 直暉

最優秀賞

社会がよりよくなるために

西部中学校2年 井澤 遥

先日、小学生の弟のサッカーの試合を見に行ったことです。同じチーム内に一際輝く女の子がいました。とにかく運動量が誰よりも多く、チームが点を取られそうな場面でも果敢に相手に立ち向かっていくのです。サッカーが好きなんだという情熱が体中からあふれていて、とてつもないエネルギーを感じました。体格が大きい男の子もいる中で当たりが強く怖いこともあると思います。しかし、性別に関係なく自分のやりたいことを夢中でがんばっていて、その姿に私は勇気をもらったような気がしました。

私は「十四歳の挑戦」で動物病院に行き、様々な体験をさせていただきました。特に手術の見学をしたことがとても心に残っています。ある犬は、大きな腫瘍を摘出しなければ今日明日の命に関わるという緊迫した状況で手術を受けました。院長先生は患者の負担を第一に考えて、できる限り手術時間を短くしたいと言われて、

看護師の皆さんの手際の良さを目の当たりにしました。そのとき、チームとしての連携がすばらしいと感じました。何かしら不安な気持ちを抱えて病院に来る方々にとっては、病院で働く人が男でも女でも関係ありません。大事なものは、そんな不安な気持ちにいかに寄り添えるかだと思いました。また、チーム内でそれぞれの役割を果たして協力し合うことが重要だと学びました。

以前は、看護婦、保母と呼ばれた職業が、看護師、保育士と呼ばれ性別の壁が取り払われたように、今後さらに私たちが選ぶ職業も多種多様に变化していくと思います。男だから女だからと決めつけず、皆が自分の興味のあることに存分に取り組める社会がもっと広がっていくことを目指したいです。そのためには、私たち一人一人の個性や能力をお互いに尊重し合い、性別に関係なく協力していくことを大切にしたいと思います。



家事ができる男性を目指す!

「家事ダン」マイスター認定講座に潜入!

KAJI・DAN

「家事ダン」とは、家事男子の略。富山市が平成29年度から行っている「家事ダン」マイスター認定講座は、家事のヒントを学び、「家事ダン」が増えることで女性活躍の環境づくりを目的とした取り組みです。開催する6回の講座を全て受講した方は「家事ダン」マイスターに認定され、これまでに約50名のマイスターが誕生しています。

令和元年度に開催された講座

第1回 8月 自分を知って相手を知って 女性がほほえむ コミュニケーション講座

第2回 9月 大切なひとに食べてほしい 本格おうちイタリアン

第3回 10月 あしたから自分でできる! メンズソーイング講座

第4回 11月 おいしい!の顔を思い浮かべて作ろう! 家族が喜ぶ手づくり弁当

第5回 12月 今年の大掃除はこれで決まり! 楽しくピカピカ! 魔法のお掃除レシピ

第6回 1月 モノが整えばココロも整う 快適な暮らしが叶う 整理収納術

あいのかぜ編集委員が取材しました

第3回

10月19日(土) CiC学習室にて開催

あしたから自分でできる! メンズソーイング講座

今回の講座では、針や糸がなくても大丈夫なスティックのりでの小物入れ作りや、ボタンの付け方・裾上げを体験。



▲熱心に小物入れ作りに取り組む参加者

男性だけの講座ははじめて。でも男性のお客様でミシン教室などに通い、ものづくりを楽しんでいる方もおられます。何回も作って経験していただくと、ものづくりの楽しさが分かるはず!



【講師】
豊田 誠さん
クラフトハート トーカイ飯野店 店長

講座終了後 初開催★ マイスター3名との座談会

受講者からの「うまくいく家事のコツは?」などの質問に対して、家事ダンマイスターからアドバイスをいただきました。



▲家事ダンマイスターの3名

マイスター認定者からの3つの格言

- 1 家事も含めて何でも「やって、失敗して、学ぶ」の繰り返し。
- 2 夫婦ともに受け入れる。理解を深める。
- 3 得意・不得意は互いに必ずある。家事ダンの学びを共有し会話する。

時短をしたいなら、やってみて学ぶことが重要だそうです。まずはやってみよう!

定年まで家事をしていない場合などうまくいかなかった場合は、「今日は僕がやる」として、場所の分担ではなく、日で分担するなど工夫をしてみましょう。任せる、任せてもらうという関係も重要です。

今回、令和婚をした参加者に話を伺ったところ、「1人暮らしはしていたが、結婚して共働き。少しでも夫婦で協力してできたら」と思い、参加したとのこと。「今回の学びも、家事を話さきっかけになっています」と教えてくれました。



男女共同参画推進センターからのお知らせ



ひとりで
悩まないで

各種相談を行っています

相談日程は、毎月、広報とやま20日号で案内しています。



DV(配偶者・パートナーからの暴力)相談

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力のことを言います。
夫婦・パートナー間の悩みなど、ひとりで悩まず、ご相談ください。

●DV相談 専用電話 Tel.076-433-2210 ※来所相談については、電話予約をお願いします。

弁護士による夫婦・男女に関する法律相談

女性臨床心理士による夫婦・男女に関する悩み相談

男女共同参画講座を開催しています

男女共同参画に関するテーマで、さまざまな学習啓発講座を無料で開催しています。
詳細は広報とやまに随時掲載します。どうぞお気軽にご参加ください。

●お問い合わせ 富山市男女共同参画推進センター CiC3階：新富町一丁目 Tel.076-433-1760

編集後記



能登香織 編集委員

新時代「令和」の幕開けに新鮮な気持ちであいのかぜ編集委員を経験できること、改めて感謝いたします。
男性保育士の取材では、コミュニケーションを大切に、地域社会との繋がりを丁寧に話してくださる姿が印象的でした。
だからこそ、性別や役割といった「壁」を越えて地域貢献できるんですね。
私たち編集委員も、会話のアンテナをしっかりとたてたチームワークが、富山で輝く人々を読者の皆さんにお伝えする原動力になっています。
次号もよろしく願います。



松田悠 編集委員

男女共同参画とは何なのか？
本当に考えさせられた1年間でした。
私が1年取材させていただき感じたのは、「男女」ということにとらわれていないか？ということ。
1人1人の個性を尊重し合える世界になり、その人にあった暮らしや仕事が体現できる世の中になったらいいと思います。
我が家は妻の私が育児担当、夫が家事担当。
私は仕事が好きで、夫からの提案でこのようになっています。
そう、こんな輪が広がりますように。



小林ゆきの 編集委員

様々な取材を通して様々な男女共同参画のカタチを学びました。
性別など気にせず、スケートボードを心から楽しむ中山楓奈さん。
パパママセミナーでは、平日の昼間にも関わらずほとんどの方がご夫婦そろって参加されていました。
市民フェスティバルで古市憲寿さんが講演会で話されたように、少し考え方を变えるだけでも新しい社会の在り方が見えてくるのではないのでしょうか。
この「情報交流誌あいのかぜ」が、皆さんの男女共同参画社会を考えるきっかけになることを願います。

この号の発刊に際しまして、多くの方々にご協力いただき、ありがとうございました。

■編集・発行

2020年3月発行

あいのかぜ

“あいのかぜ”は、男女共同参画社会の実現に向けて、市民一人一人が男女共同参画社会に関する正しい理解と認識を深めることを目的に、公募市民3人からなる編集委員によって企画・編集された情報交流誌です。

富山市市民生活部 男女参画・市民協働課

〒930-8510 富山市新桜町7-38
Tel.076-443-2051 Fax.076-443-2176
E-mail : danjo-01@city.toyama.lg.jp